



株式会社ロゼッタ

# 特別損失（減損損失）の計上 に関する参考資料

株式会社ロゼッタ（東証マザーズ：6182）



2018年3月15日

# エニドア減損計上の背景と今後の見通し

- ① エニドアは**大幅な売上の減少**により2018年2月期は赤字になった。
- ② さらに市場の状況として、**機械翻訳の急激な精度向上**によって高度な専門性や品質を要求しないローエンドの**クラウド翻訳市場は縮小傾向**にある。
- ③ よって、エニドアの**既存型ビジネスモデルではのれん償却相当額の利益を見込むのは不可能**であると判断し、第一幕としては減損して閉じる。
- ④ 一方で、ロゼッタMT事業では、昨年11月末にリリースした**高精度機械翻訳『T-400(ver.2)』の新規受注は大幅に増加**している。
- ⑤ エニドアの第二幕は、『T-400』と連動した**機械翻訳後の人手によるリライト事業**という新しいビジネスモデルへの転換。
- ⑥ 2019年2月期では、グループ全体で業績を反転させ、**連結ベースで売上・利益ともに過去最高額を目指す**。

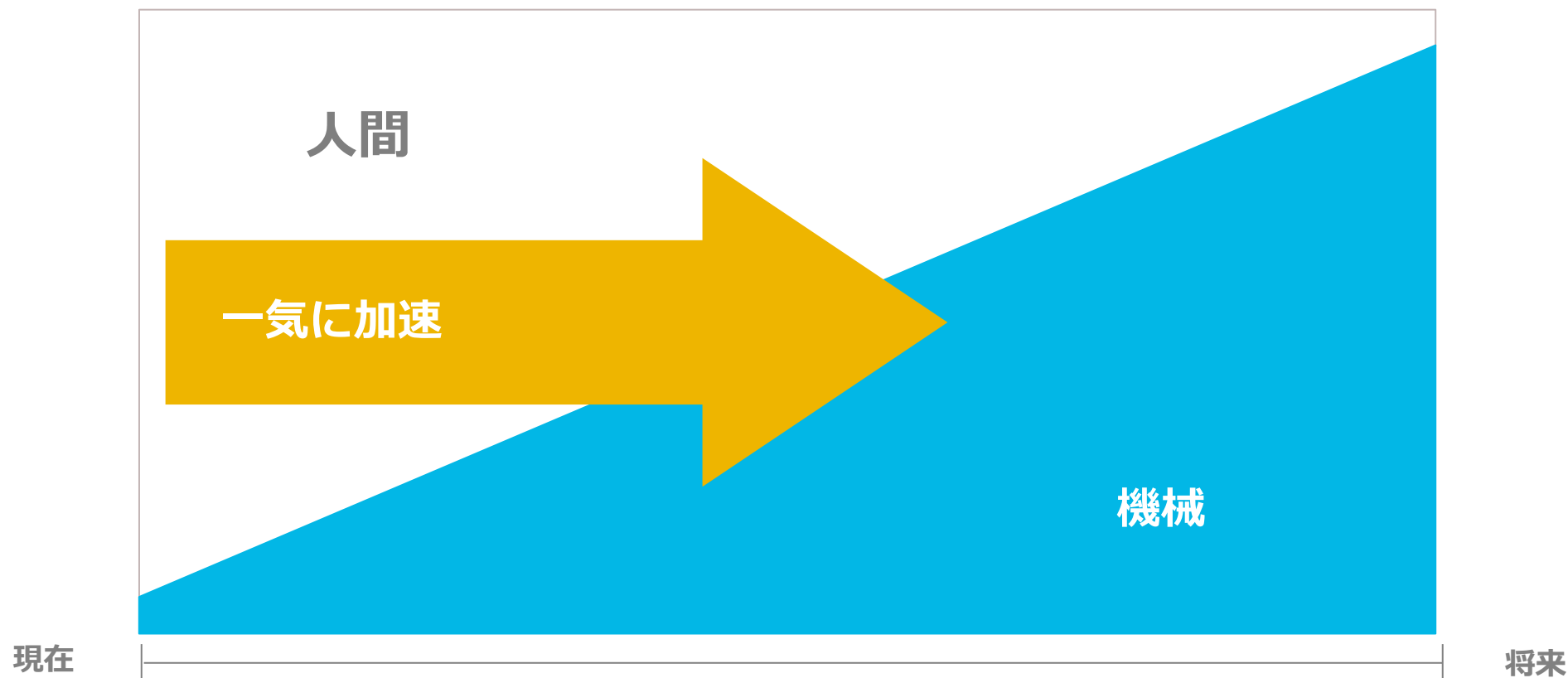
## 大幅な売上の減少により赤字に

(単位：百万円)

	2017年2月期 下半期実績	2018年2月期 上半期実績	2018年2月期 下半期見込
売上高	112	109	87
営業利益	5	▲4	▲22
経常利益	4	▲4	▲22

※2018年2月期下半期は決算精査中のため現時点での概算見込額になります。

市場では、機械翻訳の急激な進化により、  
構造のパラダイムシフトが起こりつつある



# クラウド翻訳市場への影響

高度な専門性や品質を要求しない  
ローエンドのクラウド翻訳市場は縮小

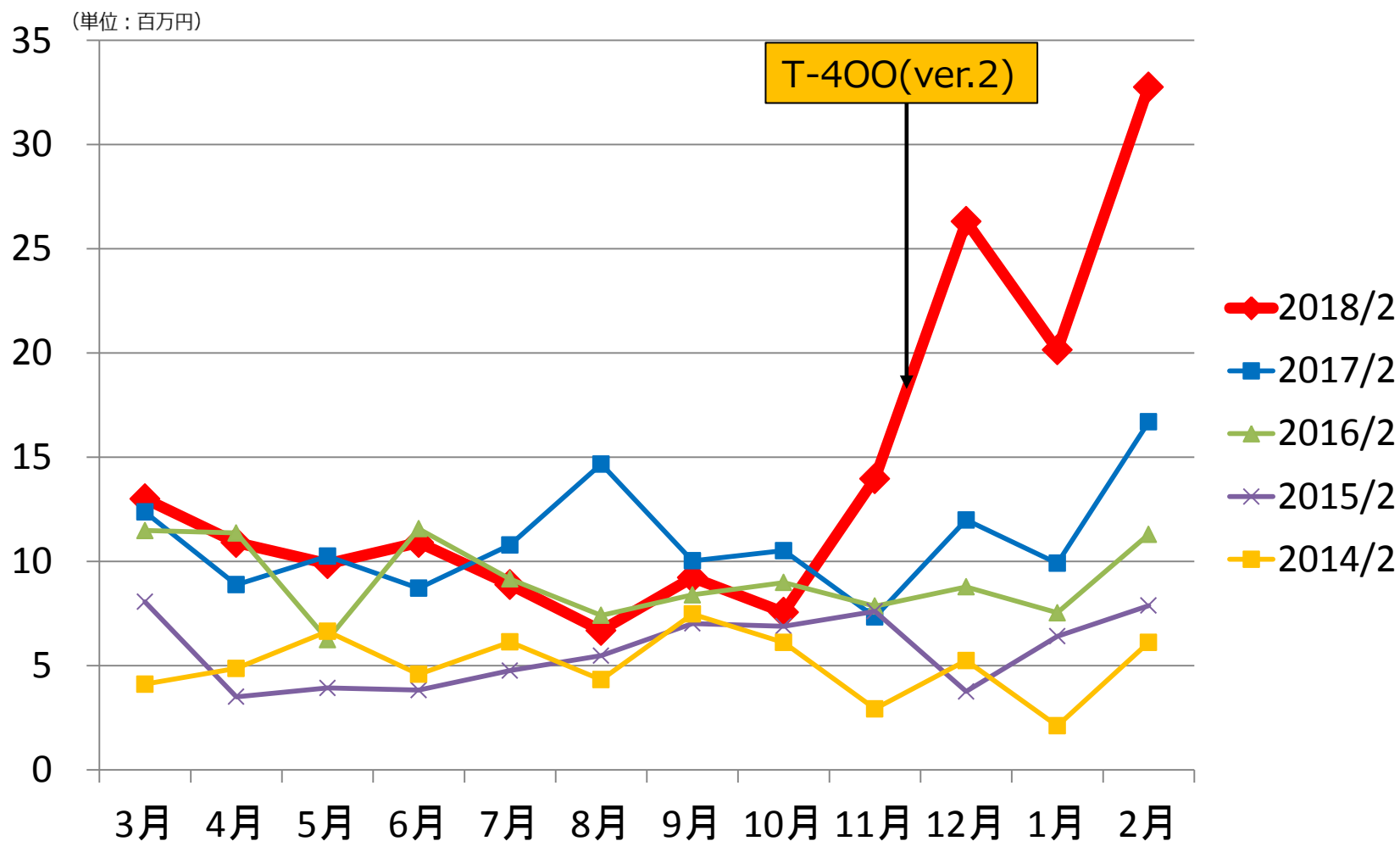
無料翻訳サイトに出しても構わない原稿  
読んで概要が知りたいだけが目的の翻訳  
産業翻訳レベルの精度が要求されない翻訳



機械翻訳が取って代わる

# MT事業『T-400(ver.2)』新規受注売上推移

一方で、ロゼッタの高精度機械翻訳『T-400(ver.2)』の新規受注は好調に推移。



# エニドアの新事業

エニドア第2幕の新ビジネスモデルとして  
機械翻訳後の人手によるリライトサービスを開始

# AI & CROWD 1円翻訳

2018年2月リリース済

自動翻訳とクラウドソーシングによるリライトを組み合わせる  
ことで実現する1文字1円の低コスト&高スピードな翻訳API。  
1文字1円の価格は、当社グループ翻訳事業比較で約10分の1。



AI



CROWD

## ご留意事項

- 本資料は、株式会社ロゼッタの業界動向及び事業内容について、株式会社ロゼッタによる現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 株式会社ロゼッタの実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来展望に関する表明は、2018年3月15日現在において利用可能な情報に基づいて株式会社ロゼッタによりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

本資料のお問合せ先  
株式会社ロゼッタ  
社長室 酒井

お電話でのお問合せ：03-6685-9570

FAXでのお問合せ：03-6685-0672

メールでのお問合せ：[ir@rozetta.jp](mailto:ir@rozetta.jp)